

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こども通所支援事業所おおぞら		公表日		2025年 4月 24日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	7	・個室や別室、他グループとの交流等で状況に合わせてスペースを使えるようにしています。 ・国が指定する基準には満たしていますが、せまく感じることもあるため、屋外活動などを取り入れています。	・人数に対して部屋のせまさが感じられる場合もあることが、課題点として挙げられます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	4	・こどもの状態に応じて他室より応援をお願いし、安全に支援できるようにしています。 ・国が指定する基準には満たしていますが、お子さんの状況により職員数が必要な場合もあるため、グループごとで協力しています。	・お子さんの状態によってはより職員配置が手厚くあると良いと思う場面もあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	6	・環境が不十分な面もありますが、職員間で配慮や工夫をし補っています。	・外階段に手すりがない箇所があり不安な児がいるので、その都度付き添いを行う等の対応をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	2	・全ての部屋でオゾン脱臭除菌機を使用しています。掃除や消毒も活動後に必ず実施しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13		・それぞれのグループで必ず別室があるので、別室を活用し対応しています。	・部屋が足りないと感じられるときもあることが、課題点として挙げられます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	1	・面談を通して1年を振り返り、又次年度の目標を決めています。	・行事を終えた後は、振り返りとしての意見や感想を用紙に記入する形で集め、次年度に活かせるようにしています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		・毎年実施しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		・定期的な会議の他に職員面談を実施しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13		・定期的実施しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13		・研修案内および参加機会も多くあります。 ・個人で参加してみたい研修についても、他職員と相談の上、参加できる仕組みとなっています。 ・研修へ出る為の時間を他グループの協力のもと確保しています。	・キャリアに応じた研修を受講できるようになることで職員のスキルアップになると考えられます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		・支援プログラム：2025年2月に公表済みです。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13		・個別支援相談やアンケートで聞き取りを行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		・現場職員の意見を反映しながら計画作成をしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	2	・ケース会議で児童の誕生日に合わせて支援方法を検討し、統一した支援の共有をはかっています。	・より良い共有方法について今後も検討していきます。 ・利用児の計画はグループごとに把握をし、計画に沿った支援は必ず共有をしています。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1	様々な種類の検査をそろえてあります。	・様々な検査はありますが、利用される方は少ない為、保護者の方にご案内していきたいと考えています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13		・個別支援計画に5領域の視点を入れて作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13		・職員で話し合い、課題内容を決めています。	・専門職の視点を取り入れた活動プログラムになるようにしています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13		・職員で意見を出し合い、療育の課題の内容を決めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13		・個別支援計画を共有しながら活動や支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13		・週の初めに療育課題内容について職員間で共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	1	・当日できない場合は翌日に行っています。 ・勤務時間が様々であり、支援終了後の打ち合わせは難しいため、朝にグループリーダーの打ち合わせを行っています。	・打ち合わせや申し送り事項については、記録をとり、打ち合せに不参加であった職員でも確認できるようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13		・記録は必ず取り、振り返り等に活用しています。	・ケース会議で職員や専門職の視点から支援の検討をし、適切な支援方法の統一をはかっています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13		・必ず年2回面談を実施し、お子さんに合った計画になるよう努めています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	13		・制作活動やとちのみ祭り、ドライブなど、様々な活動を組み合わせ支援を行っています。	
関係機関や保護者との	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13		・玩具やおやつなど選択肢を多く設けて、自己選択、自己決定の機会を持てるようにしています。 ・写真やアイウエオ表、絵カードを活用しています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	1	・情報共有をこまめに実施しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13		・関係機関連携や保育所等訪問支援を行います。 ・送迎の際の申し送り、必要なら電話での話し合い、情報共有を行っています。また、年一回夏休みに機会を設けています。	・保健センターやこども家庭センター、小児科、学校等の関係機関と連携しやすい関係を引き続き、継続していきたいと思っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	1	・新年度には挨拶に行き、情報共有を行っています。	・適時、学校とは連絡をとり、情報共有を行い連携をはかっている。また、学校一斉メールでも下校時間は確認をしています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13		・移行支援を実施し、情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13		・保護者の方の同意を得ながら行っています。 ・現場実習の段階で情報共有し、必要な児童は見学に来てもらう等行なっています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12		・定期的に研修に参加しています。	・同法人の児童発達支援センターとは連携をはかり、また県内の児童発達支援センターの研修会にも参加しています。引き続き、研修を通して助言等を参考にしていきたいです。

の 連 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	7	・とちのみ祭りや運動会では、地域のお子さんにも参加してもらったり、マイチャレンジ(中学生の職場体験)等の受け入れも行っていきます。	・できる限りみんなが交流できる活動を計画し、実施できるよう検討します。 ・感染症の懸念があり、行えていない現状があります。 ・地域の人を呼ぶイベント(とちのみ祭り)があるのみで交流する機会がないので、企画していきたいと考えています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	13		・法人の代表者が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	13		・日々の申し送りで情報共有を行い、定期的な面談も行っています。 ・毎日の申し送りに加え、必要があれば個別面談等で対応しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13		・子育て応援講座の実施、ペアレントプログラムの研修、案内等を行っています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	1	・必ず利用前におおぞら利用説明会に参加してもらい、おおぞらについて毎年説明を行っています(新一年生に対して)。	・説明を行っていても、うまく伝わりきらない場合もあるため、より伝わりやすいような内容や説明方法について検討いたします。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13		・必ず面談を行ってから計画を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11		・面談を行い、確認・同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13		・日々の申し送りや定期的な面談に加え、必要な場合は随時面談を設定しています。 ・毎日の申し送り、面談等で行なっています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	11	2	・一年生の保護者に対し座談会を企画し、交流の機会を作っています。	・保護者同士の交流の機会はあるが、きょうだい同士の交流の機会はないので、今後内容についても保護者の意見を取り入れながら検討していきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	1		・苦情についての対応の整備は必ず行っています。保護者に対しては、説明会等周知できる方法を考えていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13			・チラシやHPでは配信していますが、SNS等での配信ができていないことが課題として挙げられます。 ・ブログにて発信をしていますが更新回数が少ないため、増やしていきたいと考えます。また、LINEも活用していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		・マニュアルを作成し、個人情報取扱いの仕方を職員間で共有しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13		・配慮できるよう心がけています。 ・絵カードやホワイトボードを活用しながら、視覚情報も活用しています。 ・必要に応じ、ホワイトボードやメモを利用して配慮しています。	・お子さんの特性の理解をより深めていき、伝わりやすい・過ごしやすい環境作りを今後も行っていきます。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13		・毎年6月にとちのみ祭りを開催しています。		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13		・各マニュアルは策定しており、毎年見直しをしています。	・マニュアルについては職員間で共有していますが、保護者の方に周知はできていない部分もあると思うので、周知していきたいと考えています。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13		・月1回避難訓練に参加しています。 ・避難訓練を定期的に実施しています。 ・BCP計画も法人として策定されています。	・引き渡し訓練もしてみたいと考えています。

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・事前に確認し、書面に残して職員間で共有をしています。 ・毎月更新時に確認し、変化があるごとに連絡をいただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬について(効果や副作用)やてんかん発作等については、最新の情報を知っておく必要があるため、小児科の医師に教えてもらったり、研修会に参加する等をしていきたいと考えています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方に指示書を提出していただいています。 ・医師の判断に基づいて、保護者より連絡をいただいています(更新時に確認)。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を作成し、職員に周知を行っています。 	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	2		<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を作成しましたが、まだ周知・徹底が不十分な為、今後行っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットが起きた場合、必ず共有を行っています。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加したり、毎日の打ち合わせで虐待防止目標の確認を行っています。 ・代表者が虐待防止委員になり、会議の内容については職員全体で共有をしています。 	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13			<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に身体拘束は行ってない為実施したことはありませんが、手順を職員間で共有したいと考えています。